

世田谷西部支部

令和 3 年 2 月 1 日発行

〒 156-0054

桜丘 2-6-3

TEL 3429-3271

2月

天理教世田谷西部支部（東世分教会内）発行責任者 岡庭正行 編集 支部編集部

支部例会はしばらくお休みとなります

支部例会は、しばらく開催を見送ることとなりました。今後は幹事会のみ開催する予定となっております。

今後とも、社会の状況に応じて変更や中止が続く可能性があります。ホームページなどで最新の情報をお確かめください。

「天理時報」の手配り開始は未定となっています

天理時報の手配り開始について、世田谷西部支部では、現状では再開未定となっております。

再開時期についてはご心配、ご相談を頂いていることと存じますが、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

支部ホームページについて

世田谷西部支部では、最新の情報をいち早く支部管内の皆様と共有できるよう、ホームページを運営しております。

行事については直前に変更になる可能性もありますので、情報の確認にご活用ください。

また、ホームページにあったら良いコンテンツや企画などのご意見、ご感想などもどうぞ気軽にお寄せください。



世田谷西部支部ホームページ

<https://tenrikyou-setagayaseibu.jimdofree.com/>



☆支部行事のお知らせ

- ・支部幹事会
2月28日(日) 10時より
会場 東世分教会

- ・教区ひのきしん
2月はありません

- ・婦人会例会
3月までお休みとさせていただきます

天理教基礎講座 東京会場について

2月までの講座は中止です。開催については前月の19日に決定しますので、20日以降に教区にお問合せください。

婦人会例会報告

昨年の12月17日、東世分教会で年内最後の婦人会例会をつとめさせていただきました。

当日は10時に集合し、おつとめをつとめた後、リース作りをさせて頂きました。お供えいただいた材料を使い、それぞれが思い思いのリースを作ることができました。その後、次年の計画を話し合いました。

一年間、結構にお連れ通り頂けた事を感謝し、皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

参加者13名

(岡庭利枝)



“暮らしの場”で教えに親しもう

天理教ホームページを運営・管理する道友社（松村義司社長）は、同ホームページ「信仰している方へ」内に、「暮らしの場」で教えに親しもうを設置している。これは、今だからこそ“暮らしの場”で教えに親しみ、個人でもできる身近な信仰実践に取り組んでもらおうと企画されたものである。その内容をあらためて簡単に紹介したい。

聴いて味わう

「天理の教えチャンネル」 布教部
おたすけの現場で生きるお話。昨年 10 月開設。

「千遍」 青年会
「かしの・かりもの」のひとつこと話

「天理教の時間」 道友社
教えに基づいた“家族円満”のヒント

「朝の信仰読本」 道友社（中山慶純著）
『朝の信仰読本—こころ澄ます教話集—』

「神様からの宿題」 道友社（宮崎伸一郎著）
ラジオで放送した『神様からの宿題』

視て感じる

「みんなの少年会」 少年会
Youtube に設置した「みちのこチャンネル」

「おやさと百景」 道友社
季節ごとの親里の情景や行事などが楽しめます

天理参考館 WEB 展示室「スポーツの歴史と文化」
天理参考館・道友社
創立 90 周年特別展を、WEB 展示室として

読んで深める

「時報から拾い読み」 道友社
天理時報から、記事やコラムをピックアップ

「試し読み&無料公開」 道友社
試し読みができる書籍を紹介しています

「JOYOUS LIFE」 道友社
「陽気ぐらし」の手がかりとなる記事

ウェブ「Happist」 学生担当委員会・学生会
学生向けに情報を発信中

各部各会年頭挨拶

青年会 橋本渉

昨年はコロナにより私たちの生活もまたお道の活動も大きく制限され、現在も緊急事態宣言の最中において、生活や感染で苦しんでおられる方が多くいます。私たちは少しでも収まることを願いつつ、率先して予防に取り組み、そして何よりも大切なことは、この節をマイナスに捉えるのではなく、親神様の思いを思案する機会とすることだと思えます。

今こそ原点回帰で、教えの基本となる当たり前と思っていた日常に感謝をして、こんな時だからこそ私たちが用木から、明るく元気な姿を身近な人や地域に向けて発信していきたいと思えます。

コロナで表立った活動は難しいですが、いつの日か「この節があつて良かった」と思えるように、青年会としても今できることを模索していきたいと思えます。

支部報編集部 岡庭正浩

昨年は、支部広報の活動にご協力いただき、ありがとうございました。

感染症の影響で様々な行事が中止となる中で、編集部としてはそうした中止情報などを皆さまにお伝えできるように、支部報のページ数を縮小しながらも毎月発行するよう努力して参りました。また、教内や社会の状況によって刻々と変化する情報をお伝えするため、支部ホームページの企画と運営をさせて頂きました。

今後は、益々地域での活動が重要になってくると思われますので、支部広報としましては、本年も地域の皆さまが情報を共有・交流しやすくすることで、各教会や教友の皆さまが一層元気になるお手伝いをさせて頂けるよう努めて参ります。本年もよろしくお願いいたします。

